



みんなファンド 2007 年度 助成事業報告書

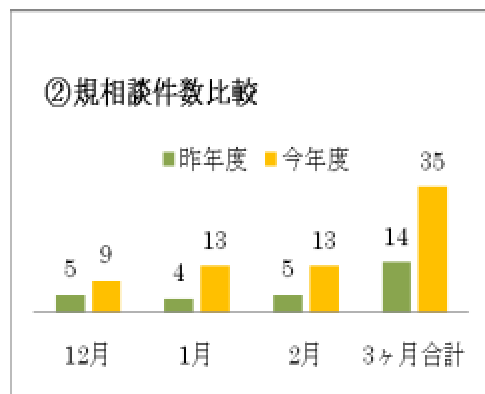
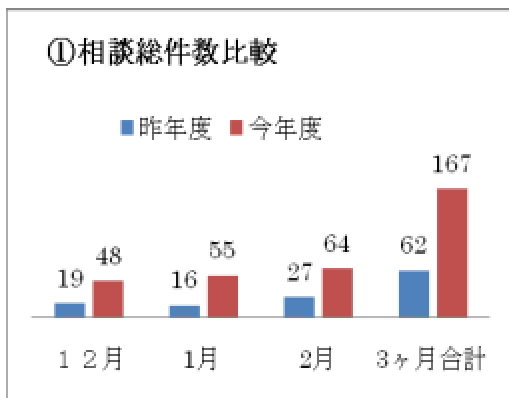
2008 年 3 月 30 日

団体名	キャブネット・みやぎ(子ども虐待防止ネットワーク・みやぎ)		
事業名	電話相談日週 6 日制拡充キャンペーン		
連絡担当者お名前	舟山みどり		
担当者	電話	F A X	
	E-Mail		
<p>助成金を使って行った事業について、記述してください。 (活動の様子の写真や、関連資料などありましたら、あわせてお送りください)</p> <p>2007 年 10 月:電話相談員による「6 日制準備会」と事務局スタッフで「広報委員会」を立ち上げる。以下広報委員会の活動を記す。</p> <p>10 月: 広報の方法、手段を検討。</p> <p>11 月: 見積書を資料として更に具体化し、印刷所にカードスタンドの印刷依頼。 ポスターは今回見合わせることに。</p> <p>11 月: 新しいリーフレットを作成。 カードスタンドとカードを県内産科、小児科 345 件に送る。 (カード入れホルダー設置の依頼文とともにカード補充送信用紙を同封)</p> <p>12 月: 県・市の児童相談所 3 箇所にカードスタンドを置く。</p> <p>12 月: 相談員定例会において新しいリーフレット、カードスタンドを披露し、広報の協力を依頼する。</p> <p>12 月: 「仙台ひと・まち財団」の協力を得て仙台市内 8 7 箇所の児童館にカードスタンド設置とリーフレットの配布を依頼。</p> <p>12 月: 「のびすく仙台」にカードスタンドとリーフレットを置く。</p> <p>12 月 1 日電話相談日 6 日制開始</p> <p>1 月: 市町村児童虐待防止対応部署(栗原市役場児童虐待防止主管部署、石巻保健福祉事務所母子障害班、湧谷町役場健康福祉課等)にカードスタンドとカード等を送る。</p> <p>2 月: 広報委員会解散</p>			
			
	<p>相談員定例会</p>		
			
	<p>「のびすく仙台」に設置した カードホルダー</p>		

今回の事業によって、団体全体の活動にどのような成果・効果がありましたか

キャブネット・みやぎの活動の柱である「電話相談」は当初週 1 回から始まり拡充を目指してきたが 2007 年においても週 3 回に留まっていた。何よりも困っている相談者が利用しやすいこと、これが虐待防止の一助となることを願って 2007 年 12 月より週 6 日とし、それと呼応する広報を今回の事業とした。

6 日制を導入して 3 ヶ月しか経過していないが、その成果を相談受理件数という数で検証したい。グラフ は相談日が 3 日であった昨年との比較である。6 日制になったことによる相談件数の増加を示す。その中の新規相談件数の伸びをグラフ が示す。



グラフ は週 6 日になってからの曜日別件数比較である。開始した 12 月は、従来の相談日であった月・水・土の相談件数が新しい曜日の合計より多いが、1 月以降、曜日の偏りはあるものの新設した相談曜日と従前の相談曜日のバランスがとれ、広報の成果が表れている。

以上を総合して今回の広報活動は成果があったと考える。

今回の事業を、今後どのように展開していきますか

また、その際に必要なものは何ですか

相談受理件数が 3 倍近くになったことは、相談日拡充が相談者に待たれていた、社会的必要性があったことの証と考える。更に新規の相談(具体的に「カードを見て初めてかけた」という声もあり)もそれにほぼ比例して伸びたことは、広報の成功であると考え。しかしこのような広報活動は持続性が必要なことは言を待たず、これがこれからの課題である。私どもは今回の実績を市民にアピールし、会を財政的にも支えてくれる会員獲得をこれに続く活動としたい。今回の事業の一応の成功は相談員にとっても勇気と活力を得る機会ともなっており、会員勧誘、募金活動、チャリティ等の企画も検討され、活動の活性化が図られた。

助成金の使途内訳（具体的に記入してください）

収入の部

項目	金額（円）	内訳
ファンド助成金	150,000	
自己資金	37,877	会費、寄付金等
合計	187,877	

支出の部

項目	金額（円）	内訳
印刷費	128,437	カードスタンド（外注）500セット 80,115 カードプリント 10,000枚 用紙代 17,640 インク代 30,682
消耗品費	6,440	PC消耗品 3,520 封筒 2,920
通信費	53,000	郵送費@140×46 @80×30 8,840 メール便 @80×552通 44,160
合計	187,877	

ファンドに寄付をいただいた方々へのメッセージを丁寧にご覧下さい。

全国的に児童虐待件数の増加が報告されていますが、残念ながら宮城県もその例外ではありませんでした。県警が昨年把握した件数は過去最多の87件ということです(朝日新聞2008年2月19日記事)。この件数が氷山の一角であることを考えるとき、胸を痛めているのは子どもだけではなく、虐待されている子どもの、それを察知した周りの人の声を拾うことは勿論、孤立し苦しんでいる養育者自身を「電話相談」に繋げることにより虐待を防止したいというのがこの会の願いです。この趣旨をご理解くださり、協力の手を差し伸べてくださったことに心から感謝申し上げます。まだまだ私どもの力は小さなものですが、関係機関の協力も得ながらこの活動を継続してゆく所存であります。これからも宜しく願いいたします。ありがとうございました。